



龍谷大学の皆さん

「龍谷大学 農学部
食料農業システム学科」と
「高島深清水オリーブ
産地協議会」の協働活動

気持ちの良い秋晴れの空の下、行楽日和となった11月28日、「高島深清水オリーブ産地協議会（以下協議会）」と「龍谷大学農学部食料農業システム学科（以下龍谷大学）」の協働活動が行われました。高島市深清水は、約100年も続く県内随一の柿の生産地です。しかし、高齢化に伴い遊休農地が少しくづつ増えていきます。そこで2016年、地元有志10人で協議会を立ち上げ、遊休農地にオリーブを植える活動をはじめました。令和2年度には龍谷大学としがのふるさと支え合いプロジェクトの協定を結び、オリーブの定植やイベントの開催などで協働活動を行っています。今年の収穫イベント「柿祭り」

は、龍谷大学に加え、立命館大学の学生も加わり、「柿もぎ体験」や「柿料理コンテスト」など盛沢山のイベントで大いに盛り上がりました。「しがのふるさと支え合いプロジェクトのもと、龍谷大学さんと素晴らしいイベントを開催することができました。協働活動の輪が広がっていることに感謝しています。」と協議会の代表、桂田さんは語って下さいました。また、龍谷大学の山口准教授は、「キャンパスのある瀬田とは雰囲気が違う環境で、フィールドワークという貴重な体験をしています。深清水を題材にして卒業論文を書く学生も増えてきました。現場の方々のお声や想いを聞きな



「深清水オリーブ産地協議会」

代表 桂田 隆司 氏



「龍谷大学 農学部食料農業システム学科」

准教授 山口 道利 氏



令和3年度に商品化されたオリーブ茶

がら課題を一緒に考えていく経験を通して、たくさん学びを頂いています。」とこやかに学生を見守っておられました。最初は龍谷大学との連携のみでしたが、今年から立命館大学などの学生団体が関わるようになり、協働活動の輪がどんどん大きくなってきています。今年度はオリーブの葉を利用した「オリーブ茶」を商品開発し、パッケージデザインを龍谷大学生が担当するという取組も始まりました。今後も様々な人々が活動に加わって、深清水の取組がさらに豊かなものになり、遊休農地がオリーブでいっぱいになる日が楽しみです。

令和3年度 協定締結式

令和3年11月2日、滋賀県庁で知事立会いのもとに協定締結式が開催され、新たに6つの協定が締結されました。締結式には地域団体や企業、高校等から35名が出席し、協定書への署名を行いました。また、それぞれの団体から協働活動で作られた6次産業化商品等が披露され、賑やかな締結式になりました。締結式終了後は、協定締結団体のひとつである「滋賀県立長浜農業高等学校」が「伊吹くらしのやくそう倶楽部（米原市）」との協働活動で開発された「まこも茶」を試飲しながら、交流がすすみました。



令和3年度 協定締結団体

- ★長浜農業高校 ⇨ 伊吹くらしのやくそう倶楽部(米原市小泉)
- ★フラットフィールド株式会社 ⇨ 東草野炭焼き&食文化保存会(米原市甲賀)
- ★株式会社ツールドラック ⇨ 仰木自然文化庭園構想八王寺組(大津市上仰木)
- ★パソナ・パナソニックビジネスサービス株式会社 ⇨ 大澤集落協定都市農村交流グループ(甲賀市大澤)
- ★甲南高校 ⇨ うしかい田んぼアート実行委員会(甲賀市牛飼)
- ★信楽高校 ⇨ うしかい田んぼアート実行委員会(甲賀市牛飼)



【事業実施主体】 滋賀県農政水産部農村振興課
〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号
TEL : 077-528-3963

【運営事務局】 株式会社パソナ農援隊
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-10-1 梅田DTタワーB1
TEL : 06-7636-6124 (9:00~17:30)